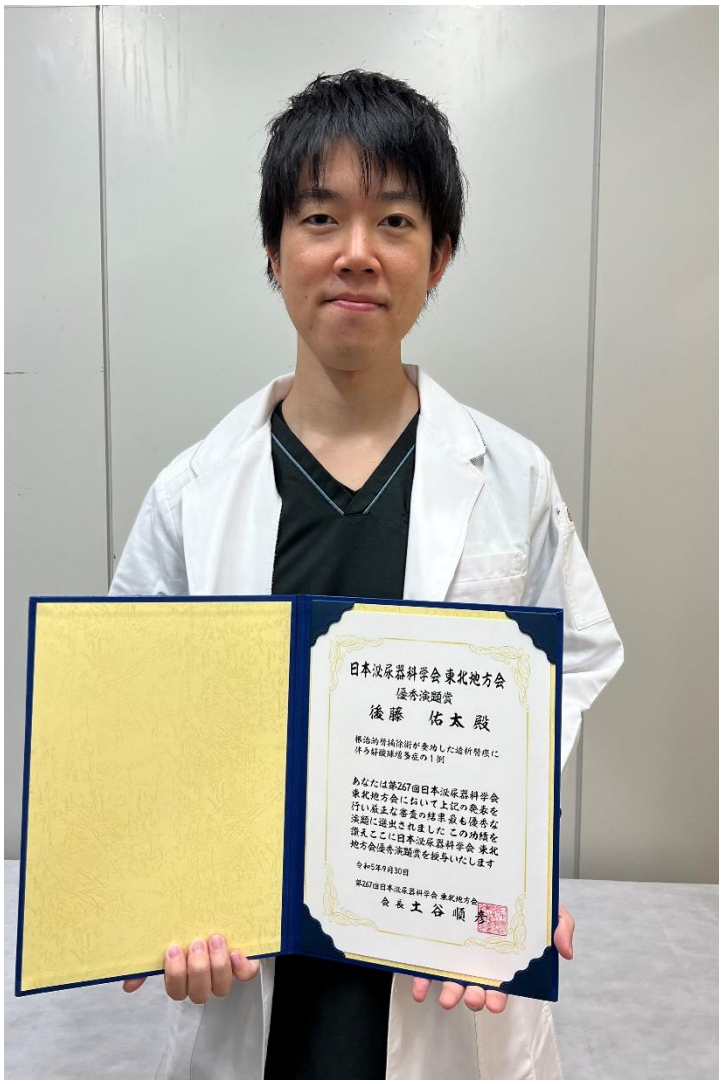
この度、第 267 回日本泌尿器科学会東北地方会（令和 5 年 9 月 30 日：山形市）において、演題「根治的腎摘除術が奏功した透析腎癌に伴う好酸球増多症の 1 例」を発表し、優秀演題賞を受賞しました。

二次性好酸球増多症の要因として固形腫瘍は稀な疾患であり、要因としてサイトカインの関与が指摘されていますが透析腎癌に伴う報告はこれまでありませんでした。また透析患者様に関しては、好酸球増多を認めた際に透析に関連した影響を第一に考慮することが多く、本症例でもその鑑別に苦慮致しましたが、原発巣の治療を行う事により好酸球増多症の改善を得られました。本症例について好酸球増多症の鑑別疾患、固形腫瘍に伴う好酸球増多症とサイトカインの関連性、加療中の好酸球推移の詳細な検討を行い発表しました。今回の賞は、これらの検討考察について御評価頂けたものと考えております。

今回の発表に際して、小原航教授をはじめとする当講座の医局員の先生方、病理診断学講座の柳川直樹先生に御指導を賜りました。さらにご協力を頂きましたスタッフの方々に深く御礼申し上げます。